

ディスカバリー北海道【2nd ディスカバリー】



・冬の日高周辺のフィールドを活かし、雪や冬山など厳しい環境の中で体験活動を行うことで、コミュニケーション能力や、自己肯定感の向上を図る。

期日：平成30年3月26日（月）～3月28日（水）
 会場：国立日高青少年自然の家
 対象：小学4年生～中学1年生
 人数：31名（参加者25名、職員4名、ボランティア2名）

3月26日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
曜日			バス①：日高ハイヤー 新札幌駅周辺発 9:30 えにわ道の駅発 10:30			自然の家 着 13:00	開 会 式	オリ エン テー ション ①	オリ エン テー ション ② 山小屋泊の準備		夕食	オリ エン テー ション ③ ルート 確認	オリ エン テー ション ④ 持物最 終確認	入浴	就 寝 準備	就 寝
			バス②：所バス 沼ノ端駅北口発 11:00 ローソン富岡発 11:40						オリ室		レストラン	オリ室		浴場	宿泊棟	
3月27日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
曜日	洗面 / 清掃	つどい	朝食 7:30	活動 準備	活動① 雪山ハイキング 自然の家⇒山小屋		活動② 野外炊事 昼食		活動③ snowtable 制作			活動④ 野外炊事 夕食		交流	就 寝 準備	就 寝
	宿泊棟	PH	レストラン	宿泊棟												山小屋
3月28日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
曜日	活動⑤ 野外炊事 朝食	出 発 準備	活動⑥ 雪山ハイキング 山小屋⇒自然の家		入浴	昼食	閉 会 式	自然の家 発 14:00		バス①：日高ハイヤー えにわ道の駅着 16:00 新札幌駅周辺着 17:00 バス②：所バス ローソン富岡着 15:10 沼ノ端駅北口着 15:50						
			山小屋		高原荘	レストラン	オリ室			バス						



【成果】・1日目に時間のゆとりを持たせ、2日目からの山小屋泊準備に多くの時間を割いたため、参加者のイメージづくりにもつながり、山小屋泊当日もばたばたとせずに出発することができた。

- ・スノーモービルで山小屋まで荷物を運搬できなかったことから、調理用の水やその他の物品についても参加者（スタッフを含め）に分担した。分担の際に、グループで運ばなければならないすべてのものを示し、グループ内でどのように分担するかを相談させたため、グループ内のコミュニケーションが深まった。
- ・これまで背負ったことのない重さのリュックサックを背負い、スノーシューでの登山をやり遂げた参加者は、自信につながったのか、ネガティブな発言が少なくなった。

【課題】・スノーモービルで山小屋まで往復できない状況であったが、山小屋泊中の緊急時対応について検討し体制を整えておく必要があった。（例えば、本館に宿直者以外の職員を緊急時対応のため宿泊させるなど）